

フリガナ ご氏名	フジタ タケヒロ
	藤田 武弘
企業・団体名	国立大学法人 和歌山大学
所属 (企業・団体の)	観光学部／食農総合研究所
役職	教授／副所長



ご略歴	<p>1962年大阪生まれ。大阪府立大学総合科学部卒業、立命館大学大学院文学研究科修了、大阪府立大学大学院農学研究科単位取得退学（博士（農学）取得）。</p> <p>1992年大阪府立大学農学部助手に着任、同学部専任講師を経て、2007年から和歌山大学経済学部教授、2008年同大学観光学部教授。2015-18年観光学部長、国際観光学研究センター長、食農総合研究所副所長を歴任、現在に至る。</p> <p>日本農業市場学会全国理事を務める傍ら、総務省・文部科学省・観光庁・地域活性化センター等の各種委員会委員・研修会講師、さらには和歌山県・大阪府・京都府等の地方創生や総合計画、農業・観光振興施策に関わる審議会委員等を務める。</p>
専門および得意な分野・研究	<p>食料・農業経済学。とくに、ニューツーリズム（都市農村交流・グリーンツーリズム）を通じた食と農との関係性再構築や農山村再生を専門として研究しており、域学連携型のアクションリサーチを通じた研究成果の社会実装化に努めている。</p>
セミナータイトル	都市農村交流を通じた食と農との関係性の再構築
セミナー概要	<p>(※300文字程度でご記入お願い致します。)</p> <p>日本農業は、国際化の進展に伴う農産物価格低迷等の環境変化に直面し、農業労働力・農地など基礎資源の適正な維持・管理が危ぶまれており、農山村では共同体としてのムラ機能が喪われる「限界集落」化が進行している。しかしその一方で、食の安全・安心に対する国民的関心は高く、LOHAS やコト消費に象徴される価値観の変化も進んでおり、近年では若者世代を中心とする「田園回帰」の動きも確認できる。</p> <p>本セミナーでは、農産物直売所・農業体験農園・援農ボランティアなど都市農村交流をめぐる新たな動きが、食の外部化を通じて乖離した食と農との関係性を再構築し、さらには地域循環型の6次産業化を通じて農業・農村に新たな価値を創造する可能性について考えてみたい。</p>
ご講演中のキーワード	<p>(*ご講演中に出てくる重要単語などを4~8程度を目安にご記入お願いいたします)</p> <p>都市農村交流、グリーンツーリズム、田園回帰、地域内再投資、6次産業化</p>
本セミナーで習得できること	<p>(記入例：・〇〇の基礎知識 ・〇〇のノウハウ など箇条書きで3~6程度を目安にお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と農村を取り巻く戦後の変化と課題が整理できる ・多様なグリーンツーリズムなど、近年の都市農村交流の新たな動きが理解できる ・食と農との関係性を再構築する（物語を繋ぐ）ことの社会的意義に関する理解を敷衍して、植物工場の社会における役割や可能性を考えることができる